



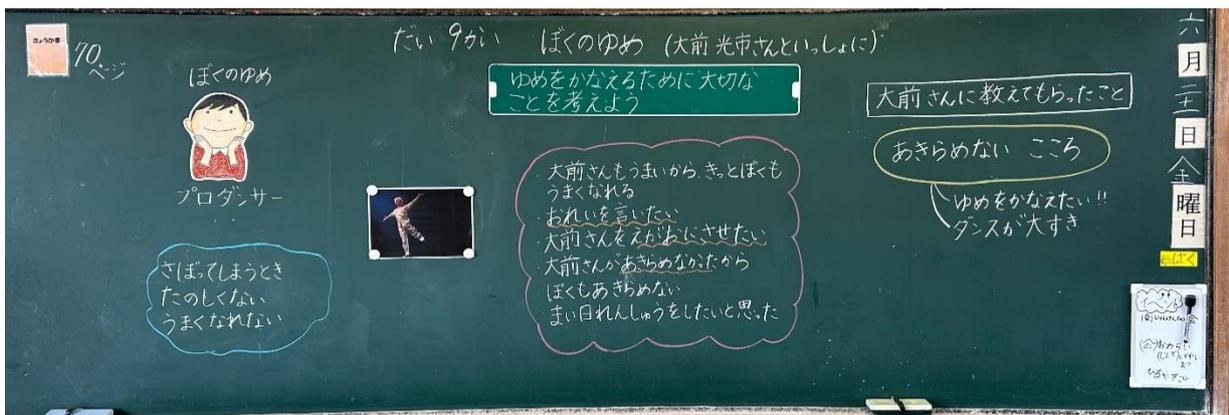
今号では、2年生の参観授業の様子を紹介させていただきます。

2-1 「のこぎり山の大ぶつ」



- 「自分がしたい＝相手もしたい」「自分は楽しい＝相手も楽しい」が必ず成立する訳ではないと知ったと思います。大切なのは、違うからだめではなく、声をかけたり助け合ったりすること。視野の広がるいい授業だなと思いました。
- 面と向かってコミュニケーションをとったり自分の気持ちを伝えたりするのは、なかなか大人でも難しく、子ども達も苦手と思います。その中で相手の気持ちになって伝えたり考えたりして行動すると、自分の気持ちもいい方向に向くことが学べたと思います。
- 家庭でも、「する前や言う前に相手が嬉しい顔になるか悲しい顔になるか考えて伝えようね。」と伝え続け、心やさしい子に育つよう支えていきたいと思います。

2-2 「ぼくのゆめ—大前光市さんといっしょに—」



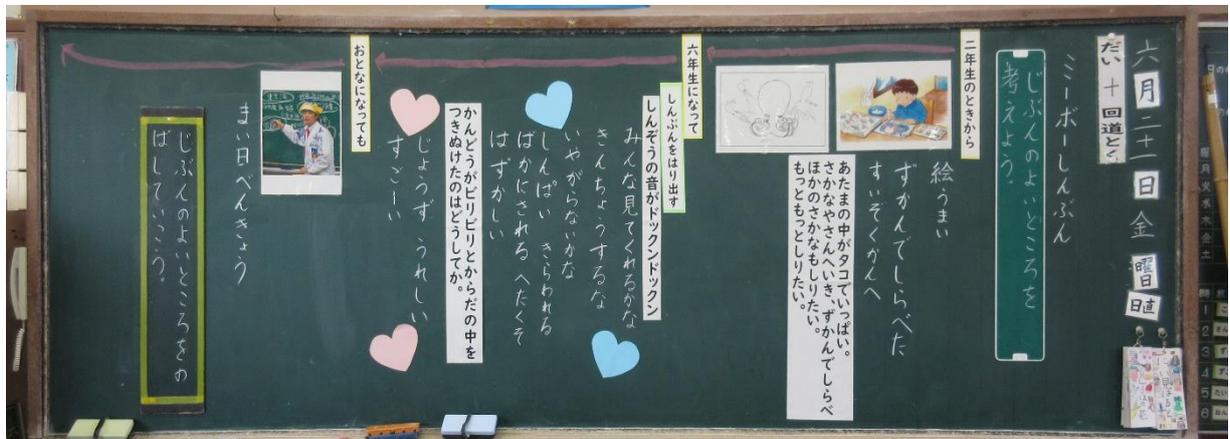
- 夢を叶える為には、あきらめない事を学んでいました。夢に向かって悩んでいる友達には励まし、一緒にがんばろうよ！と声をかけられるように育ててほしいと思いました。
- みんなの将来の夢の発表がすごく素敵でした。国府の大谷翔平、阿波の踊り子、大先生、みんなの夢が現実になるように親として全力でサポートしたいと思いました。
- 家庭では「夢」についてあまり話をしてこなかったので、夢や目標を持つこと、またそれに向かって努力する大切さを学ばせていただきました。

## 2-3 「あいさつがきれいな王さま」



- 家でも学校でも、大きくなって働くようになってもしっかりあいさつはとても大切。あいさつには、人を元気にさせる、自分も元気になるパワーがあると思うので、これからも続けていってほしいです。
- なぜあいさつが大切なのか、あいさつをしないとどういう気持ちになるかなど、子どもたちで話し合いながら考えを深められたと思います。
- 挨拶という言葉の、挨(あい)という字は「開く」という意味があり、拶(さつ)には「近づく」という意味があり、2つ合わせると「心を開いて相手に近づく」という意味になるそうです。子どもがこれからの人生で挨拶を通じてたくさんの人との良い出会いがあれば嬉しいです。

## 2-4 「ミーボー新聞」



- 良いところをのばしたいと思っても、つい悪いところが目について心配してしまいます。今後は長所を伸ばす関わりをしたいと思い、生き生きとする子ども達の姿に元気をもらいました。
- 自分のいいところや友達のいいところを声に出して発表し合う授業は、大人の私達もはっと気付かされる思いで観させていただきました。良いところを見つけ、相手に伝えることで、自分では気づかなかったところを再発見できる良い機会になったと思います。
- 自分を自分が好きでいられることの大切さを子どもたちも分かってもらえる良い機会になったのではないかと思います。自分の良いところ、周りの友達の良いところをたくさん見つけて楽しく学校生活を過ごしてほしいです。